

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	76,010,165	37.7	69,203,945	69.0	普通税	67,015,727	88.2	872,494	
地方譲与税	750,667	0.4	750,667	0.7	法定普通税	67,015,727	88.2	872,494	
利子割交付金	86,390	0.0	86,390	0.1	市町村民税	30,271,532	39.8	872,494	
配当割交付金	314,978	0.2	314,978	0.3	個人均等割	746,150	1.0	-	
株式等譲渡所得割交付金	186,074	0.1	186,074	0.2	所得割	23,111,602	30.4	-	
地方消費税交付金	9,252,971	4.6	9,252,971	9.2	法人均等割	1,547,658	2.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	4,866,122	6.4	872,494	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	31,694,815	41.7	-	
自動車取得税交付金	299,170	0.1	299,170	0.3	うち純固定資産税	31,365,172	41.3	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	563,786	0.7	-	
地方特例交付金	345,058	0.2	345,058	0.3	市町村たばこ税	4,485,594	5.9	-	
地方交付税	19,820,453	9.8	19,118,696	19.1	釧産税	-	-	-	
普通交付税	19,118,696	9.5	19,118,696	19.1	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	701,728	0.3	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	29	0.0	-	-	目的税	8,994,438	11.8	-	
(一般財源計)	107,065,926	53.1	99,557,949	99.2	法定目的税	8,994,438	11.8	-	
交通安全対策特別交付金	74,636	0.0	74,636	0.1	入湯税	1,905	0.0	-	
分担金・負担金	2,586,787	1.3	-	-	事業所税	2,186,313	2.9	-	
使用料	2,236,526	1.1	558,303	0.6	都市計画税	6,806,220	9.0	-	
手数料	342,269	0.2	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	48,064,900	23.8	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	11,796,728	5.8	-	-	合計	76,010,165	100.0	872,494	
財産収入	813,733	0.4	79,558	0.1					
寄附金	242,792	0.1	-	-					
繰入金	4,815,491	2.4	-	-					
繰越金	2,365,733	1.2	-	-					
諸収入	3,256,948	1.6	47,562	0.0					
地方債	18,026,800	8.9	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	7,958,900	3.9	-	-					
歳入合計	201,689,269	100.0	100,318,008	100.0					

区分		平成28年度	平成27年度
徴収率(%)	現・計	99.3	98.1
	年	98.9	97.7
	年	99.6	98.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	28,893,951	実質収支	1,648,121
下水道	9,589,174	再差引収支	-850,864
病院	921,200	加入世帯数(世帯)	78,241
上水道	110,071	被保険者数(人)	124,870
介護サービス	12,125	被保険者	91
国民健康保険	6,671,046	1人当り	123
その他	11,590,335	保険税(料)収入額	332
		国庫支出金	123
		保険給付費	332

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	811,894	0.4	-	811,854	
総務費	13,583,575	6.8	528,601	11,538,366	
民生費	107,729,669	53.9	5,863,621	44,576,386	
衛生費	14,929,653	7.5	132,000	12,868,152	
労働費	680,725	0.3	96,158	596,348	
農林水産業費	142,326	0.1	261	137,580	
商工費	2,266,054	1.1	43,004	677,949	
土木費	19,753,412	9.9	3,656,434	15,622,345	
消防費	5,517,907	2.8	1,069,148	4,885,499	
教育費	18,374,029	9.2	5,800,099	13,035,811	
災害復旧費	-	-	-	-	
公債費	16,234,454	8.1	-	16,234,454	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	200,023,698	100.0	17,189,326	120,984,744	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)						
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
義務的経費計	118,163,252	59.1	62,472,118	62,381,937	57.6	
人件費	26,923,014	13.5	25,337,532	25,247,395	23.3	
うち職員給	17,987,042	9.0	16,602,102	-	-	
扶助費	75,005,784	37.5	20,900,132	20,900,132	19.3	
公債費	16,234,454	8.1	16,234,454	16,234,410	15.0	
元利償還金	16,192,600	8.1	16,192,600	16,192,556	15.0	
内訳	うち元金	14,825,082	7.4	14,825,082	14,825,038	13.7
	うち利子	1,367,518	0.7	1,367,518	1,367,518	1.3
	一時借入金利子	41,854	0.0	41,854	41,854	0.0
その他の経費	64,671,120	32.3	54,476,447	40,585,330	37.5	
物件費	16,505,530	8.3	13,767,653	12,176,843	11.2	
維持補修費	1,617,510	0.8	1,394,156	1,394,156	1.3	
補助費等	19,768,468	9.9	18,847,902	15,113,917	14.0	
うち一部事務組合負担金	3,216,088	1.6	3,216,088	2,052,639	1.9	
繰出金	18,273,506	9.1	14,277,883	11,900,405	11.0	
積立金	2,619,963	1.3	2,403,538	-	-	
投資・出資金・貸付金	5,886,143	2.9	3,785,315	9	0.0	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
投資的経費計	17,189,326	8.6	4,036,179	-	-	
うち人件費	88,887	0.0	88,887	-	-	
普通建設事業費	17,189,326	8.6	4,036,179	-	-	
うち補助	4,025,681	2.0	221,441	-	-	
うち単独	13,017,234	6.5	3,807,227	-	-	
災害復旧事業費	-	-	-	-	-	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	
歳出合計	200,023,698	100.0	120,984,744	-	-	

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大阪府		市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分			区分																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分	平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)																																																																																																									
市町村名	東大阪市		地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳入総額	201,689,269	208,150,324	実質収支比率	1.5	1.6																																																																																																									
人口	27年国調(人)	502,784	産業構造(※5)	中部	首都	×	歳出総額	200,023,698	205,784,591	経常収支比率	95.1	92.8																																																																																																									
	22年国調(人)	509,533			近畿	○	歳入歳出差引	1,665,571	2,365,733	(※1)	(102.6)	(101.3)																																																																																																									
	増減率(%)	-1.3			過疎	×	翌年度に繰越すべき財源	74,374	660,147	標準財政規模	106,434,180	107,066,443																																																																																																									
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	493,922	第1次	27年国調	22年国調	低開発	×	実質収支	1,591,197	1,705,586	財政力指数	0.75	0.74																																																																																																								
	うち日本人(人)	476,959		591	665	指数表選定	○	単年度収支	-114,389	536,148	公債費負担比率	13.2	13.5																																																																																																								
	28.01.01(人)	496,659	第2次	0.3	0.3	積立金	×	積立金	1,809,300	1,975,700	健全化判断比率	-	-																																																																																																								
	うち日本人(人)	479,933		58,967	63,144	積立金取崩し額	×	積立金取崩し額	3,300,000	1,000,000	実質赤字比率	-	-																																																																																																								
	増減率(%)	-0.6		30.7	31.5	実質単年度収支	×	実質単年度収支	-1,605,045	1,512,065	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																								
うち日本人(%)	-0.6	132,312	136,962	基準財政収入額	×	基準財政収入額	61,714,941	60,162,719	実質公債費比率	4.7	4.9																																																																																																										
面積(km ²)	61.78		第3次	69.0	68.2	標準財政需要額	×	標準財政需要額	80,871,168	80,556,853	将来負担比率	8.5	2.5																																																																																																								
人口密度(人/km ²)	8,138					標準税収入額等	×	標準税収入額等	79,356,537	77,270,077	資金不足比率(※4)																																																																																																										
世帯数(世帯)	223,485					経常経費充当一般財源等	×	経常経費充当一般財源等	102,967,267	103,810,228																																																																																																											
						歳入一般財源等	×	歳入一般財源等	122,650,315	123,327,840																																																																																																											
職員の状況																																																																																																																					
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	189,687,488	186,485,770																																																																																																										
	市区町村長	1	10,300	一般職員	一般職員	2,503	7,614,126	3,042	うち公的資金	129,320,639	124,768,767																																																																																																										
	副市区町村長	3	8,700	うち消防職員	うち消防職員	502	1,365,942	2,721	債務負担行為額(支出予定額)	35,131,813	11,876,300																																																																																																										
	教育長	1	7,600	うち技能労務職員	うち技能労務職員	6	22,740	3,790	収益事業収入	56,368	89,317																																																																																																										
	議会議長	1	8,000	教育公務員	教育公務員	200	674,249	3,371	土地開発基金現在高	1,911,000	1,911,000																																																																																																										
	議会副議長	1	7,400	臨時職員	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	15,618,868	17,109,568																																																																																																										
	議会議員	36	7,000	合計	合計	2,703	8,288,375	3,066	財政調整基金	4,009,700	3,392,700																																																																																																										
				ラスバイレス指数	ラスバイレス指数		100.7		減債基金	2,445,971	3,546,003																																																																																																										
									その他特定目的基金																																																																																																												
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(7)</td> <td>国民健康保険事業特別会計</td> <td>(11)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(13)</td> <td>東大阪都市清掃施設組合(一般会計)</td> <td>(22)</td> <td>(公財)東大阪公園環境協会</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>奨学事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>介護保険事業特別会計</td> <td>(12)</td> <td>下水道事業会計</td> <td>(14)</td> <td>恩智川水防事務組合(一般会計)</td> <td>(23)</td> <td>(一財)東大阪雇用開発センター</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>公共用地先行取得事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>淀川左岸水防事務組合(一般会計)</td> <td>(24)</td> <td>(公財)東大阪市内学校給食会</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>火災共済事業特別会計</td> <td>(10)</td> <td>交通災害共済事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>大和川右岸水防事務組合(一般会計)</td> <td>(25)</td> <td>(公財)東大阪文化振興協会</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td>(26)</td> <td>(株)東大阪住宅公社</td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>病院事業債管理特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td>(27)</td> <td>東大阪再開発(株)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(19)</td> <td>大阪広域水道企業団(水道事業会計)</td> <td>(28)</td> <td>(公財)東大阪産業創造勤労者支援機構</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(20)</td> <td>大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)</td> <td>(29)</td> <td>市立東大阪医療センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(21)</td> <td>大阪府都市競艇企業団</td> <td>(30)</td> <td>大阪外環状線鉄道</td> </tr> </table>													一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(7)	国民健康保険事業特別会計	(11)	水道事業会計	(13)	東大阪都市清掃施設組合(一般会計)	(22)	(公財)東大阪公園環境協会	(2)	奨学事業特別会計	(8)	介護保険事業特別会計	(12)	下水道事業会計	(14)	恩智川水防事務組合(一般会計)	(23)	(一財)東大阪雇用開発センター	(3)	公共用地先行取得事業特別会計	(9)	後期高齢者医療特別会計			(15)	淀川左岸水防事務組合(一般会計)	(24)	(公財)東大阪市内学校給食会	(4)	火災共済事業特別会計	(10)	交通災害共済事業特別会計			(16)	大和川右岸水防事務組合(一般会計)	(25)	(公財)東大阪文化振興協会	(5)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計					(17)	大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(26)	(株)東大阪住宅公社	(6)	病院事業債管理特別会計					(18)	大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(27)	東大阪再開発(株)							(19)	大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(28)	(公財)東大阪産業創造勤労者支援機構							(20)	大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(29)	市立東大阪医療センター							(21)	大阪府都市競艇企業団	(30)
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)																																																																																																													
(1)	一般会計	(7)	国民健康保険事業特別会計	(11)	水道事業会計	(13)	東大阪都市清掃施設組合(一般会計)	(22)	(公財)東大阪公園環境協会																																																																																																												
(2)	奨学事業特別会計	(8)	介護保険事業特別会計	(12)	下水道事業会計	(14)	恩智川水防事務組合(一般会計)	(23)	(一財)東大阪雇用開発センター																																																																																																												
(3)	公共用地先行取得事業特別会計	(9)	後期高齢者医療特別会計			(15)	淀川左岸水防事務組合(一般会計)	(24)	(公財)東大阪市内学校給食会																																																																																																												
(4)	火災共済事業特別会計	(10)	交通災害共済事業特別会計			(16)	大和川右岸水防事務組合(一般会計)	(25)	(公財)東大阪文化振興協会																																																																																																												
(5)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計					(17)	大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(26)	(株)東大阪住宅公社																																																																																																												
(6)	病院事業債管理特別会計					(18)	大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(27)	東大阪再開発(株)																																																																																																												
						(19)	大阪広域水道企業団(水道事業会計)	(28)	(公財)東大阪産業創造勤労者支援機構																																																																																																												
						(20)	大阪広域水道企業団(工業用水道事業会計)	(29)	市立東大阪医療センター																																																																																																												
						(21)	大阪府都市競艇企業団	(30)	大阪外環状線鉄道																																																																																																												

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※7：住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

Table showing fiscal status of general accounts with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考.

※一般会計等（総計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

Table showing fiscal status of public enterprise accounts with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 損益(形式収支), 資金剰余/不足額, 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等, 資金不足比率, 備考.

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

Table showing fiscal status of related special purpose corporations with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 損益(形式収支), 資金剰余/不足額, 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等, 備考.

地方公団・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

Table showing financial status of local public corporations and special zone operators with columns: 地方公団・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの借入金, 当該団体からの借入金, 当該団体からの借入金, 備考.

※地方公共団体が25%以上出資している法人又は財政的支援を行っている法人を記載している。
※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

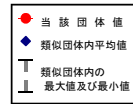
Table showing public debt burden status with columns: 区分, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 分母比.

将来負担の状況

Table showing future liability status with columns: 区分, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 分母比, 健全化判断比率, 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率.

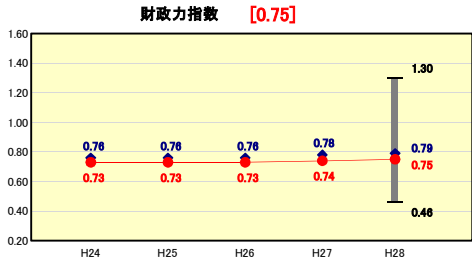
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	493,922	人(H29.1.1現在)	-	%
うち日本人	476,959	人(H29.1.1現在)	-	%
面積	61.78	km ²	-	%
総人口	201,689,269	千円	4.7	%
総収入	200,023,698	千円	8.5	%
総支出	1,591,197	千円		
実収支	106,434,180	千円		
標準財政規模	189,687,488	千円		
地方債現在高				



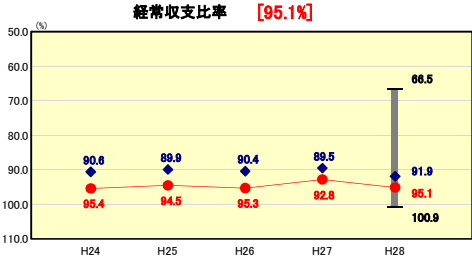
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



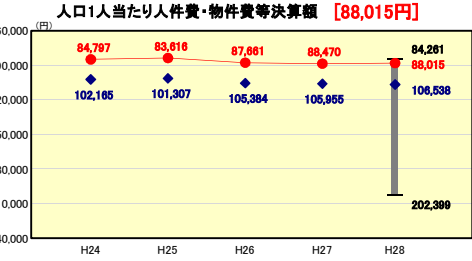
概ね横ばいペースで推移しているところである。類似団体内平均値と比較すると、やや下回っている状況にあり、社会保障関係経費の割合が大きいために要因といえる。今後もなお厳しい状況が見込まれることから、着実に行政改革の取り組みを進め、改善を図っていく必要がある。

財政構造の弾力性



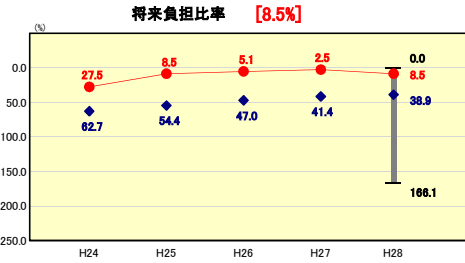
経常収支比率は、地方交付税、地方消費税交付金、臨時財政対策債など、歳入の大幅な減となり、前年より2.3ポイント悪化し、95.1%となった。類似団体平均値91.9%と比較しても依然高水準にあり、硬直化した財政状況にあるといえる。今後も引き続き事務事業の見直し等により歳入の抑制を図るとともに、歳入の確保に努め、一層の改善を図る。

人件費・物件費等の状況



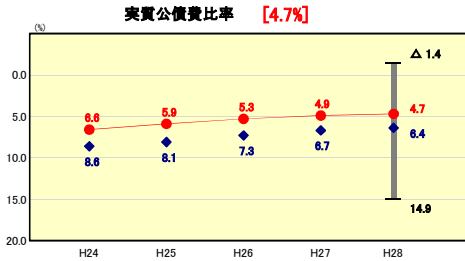
職員適正化計画や集中改革プランの実行に加え、職員の削減後も容易にアルバイトの雇用や委託に頼ることなく、創意工夫による業務効率の向上を図った結果、前年度と同様に類似団体内順位でも上位の88,015円となった。今後も民間で実施可能な事業については委託化を勧めるなど、平成27年度から始まった東大阪行財政改革プラン2015を着実に実行し、引き続きコストの削減を図っていく方針である。

将来負担の状況



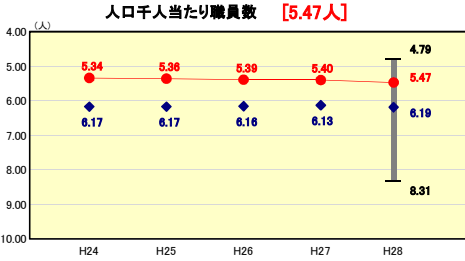
財政調整基金や減債基金等の充当可能基金の残高が、財政調整基金で約15億円、公共施設整備基金で約10億円減少したこと等により、将来負担比率は前年度より6.0%減少の8.5%となった。類似団体と比べても健全な数値となっているが、今後も将来世代への負担が増加することのないよう健全な財政運営に努めたい。

公債費負担の状況



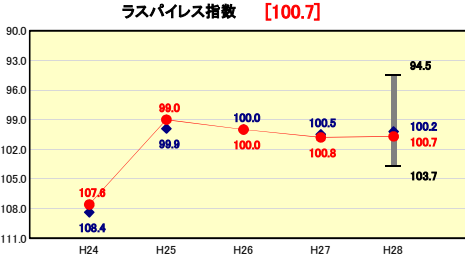
単年度実質公債費比率は前年度より0.1%増加したものの、3年平均値では4.7%となり、前年度と比べ0.2%改善された。土地開発公社健全化事業債をはじめ、過去に発行した地方債の償還が終了したことにより、元利償還金の額が減少したこと等による。今後は小中学校における耐震化事業債などにかかる償還が増加の見込みであることから、引き続き適正な公債管理に努めたい。

定員管理の状況



これまで実施してきた「職員800人削減計画」や「職員数適正化計画」などにより、類似団体内平均値6.19人を下回る5.47人となっている。今後も、さらなる定員管理に努めたい。

給与水準 (国との比較)



平成19年度に国家公務員俸給表に準じた給料表の導入、平成25・26年度に技能労働者を含む職員の昇給手数の2号給抑制を行い、また、平成27年度には給与制度の総合的見直しと併せて独自の給料表の見直しを行ったところであり、適正な給与水準の確保に努めている。また、諸手当においては、平成19年度に特殊勤務手当の抜本的な見直し、平成21年度に特家に係る住居手当の廃止などを行い、適正化に向けた取り組みを行っており、今後もより一層の給与の適正化に努めたい。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

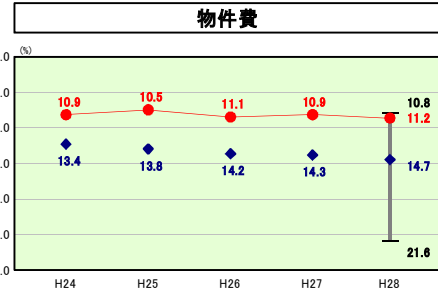
大阪府東大阪市

経常収支比率の分析

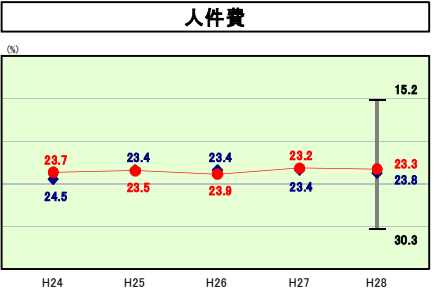
人口	493,922	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	476,959	人(H29.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	61.78	km ²	将来負担比率	4.7	%
入総額	201,689,269	千円	市町村類型	H24 中核市 H25 中核市 H26 中核市	
出総額	200,023,698	千円	(年 度 毎)	H27 中核市 H28 中核市	
実収	1,591,197	千円			
標準財政規模	106,434,180	千円			
地方債現在高	189,687,488	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

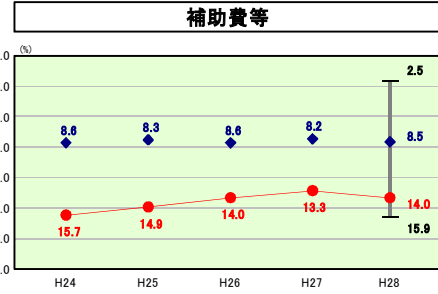
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



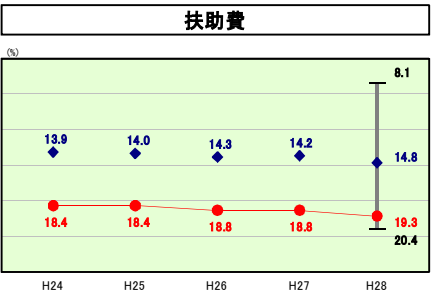
物件費の分析欄
物件費にかかる経常収支比率については11.2%となり、行革プランの着実な実行などにより類似団体平均値14.7%を下回っている。今後も更なる事務事業の見直しを行い、経費の削減に取り組んでいく。



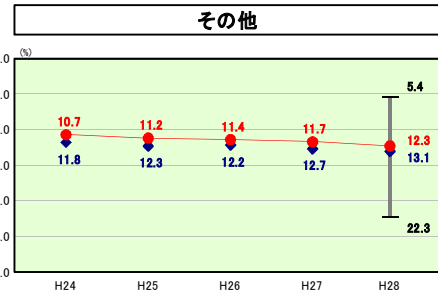
人件費の分析欄
退職手当の減、職員数の減などによる人件費の総量抑制などで、人件費にかかる経常収支比率は前年度より0.1%増の23.3%となった。今後も民間でも実施可能な業務については委託化を進めるなど、より一層の行財政改革に努めたい。



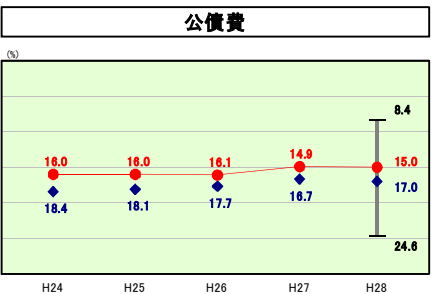
補助費等の分析欄
補助費等にかかる経常収支比率については、前年度より0.7%の増加となった。平成28年10月1日に市立総合病院の独立行政法人化により、負担金補助金や出資金として支出されていたのが、すべて補助費等として支出されることになったことによる。依然として類似団体内平均値との乖離幅が大きいため、今後もより一層の適正化に努めていく必要がある。



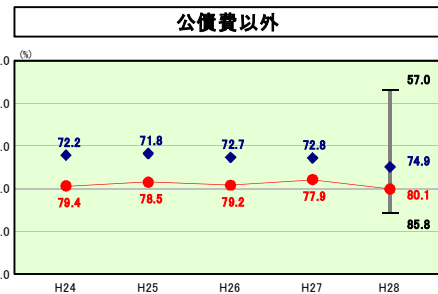
扶助費の分析欄
類似団体と比較し、扶助費に係る経常収支比率が突出して高くなっており、本市財政状況の硬直化の大きな要因となっている。平成28年度においては前年度より0.5%増加し、19.3%となった。一因として、年金生活者等支援臨時給付金や認定こども園数の増加等があげられる。依然として類似団体内平均値との乖離幅が大きいため、今後もより一層の適正化に努めていく必要がある。



その他の分析欄
その他の経常収支比率については、類似団体内平均値13.1%を下回る12.3%となった。内訳は、維持補修費が1.3%、繰出金が11.0%となり前年度と比較して、維持補修費が0.1%、繰出金が0.5%の増加となっている。今後も、これまでに整備した施設等の老朽化に伴い維持補修費の増加が見込まれることもあり、引き続き計画的な保全に努めたい。



公債費の分析欄
平成28年度においては土地公社健全化事業債をはじめ、過去に発行された市債の償還終了に伴い、類似団体平均値の17.0%を下回る15.0%となった。今後は花園ラビー場の改修、文化創造館の建設、大阪モレールの南伸事業など建設事業費の増大が予定されていることから、後年度世代に過度な負担を強いることのない市債の活用にも努めていく必要がある。



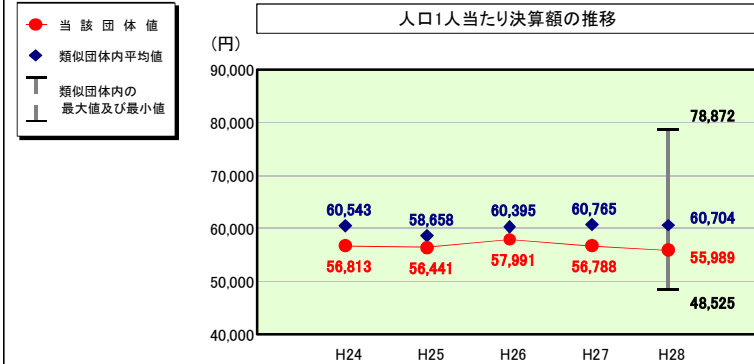
公債費以外の分析欄
公債費以外の経常収支比率については80.1%となり、前年度と比較して2.2%の増加となった。類似団体内平均値74.9%と比較しても依然高水準で硬直した状態であるといえる。主な内容として人件費、扶助費、補助費等の合計で56.6%となっている。前年度と比較して全ての費目で増加しており、今後もより一層の行財政改革の推進に努めたい。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

大阪府東大阪市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

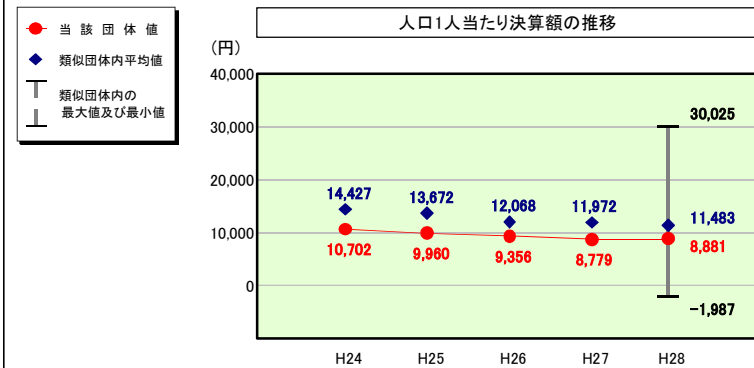
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	26,923,014	54,509	57,606	▲ 5.4
賃金(物件費)	290,149	587	2,562	▲ 77.1
一部事務組合負担金(補助費等)	862,948	1,747	1,597	9.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	433,081	877	583	50.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	23	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	718,728	1,455	1,821	▲ 20.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	88,887	180	1,288	▲ 86.0
▲退職金	▲ 1,662,635	▲ 3,366	▲ 4,777	▲ 29.5
合計	27,654,172	55,989	60,704	▲ 7.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.47	6.19	▲ 0.72
ラスパイレース指数	100.7	100.2	0.5

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

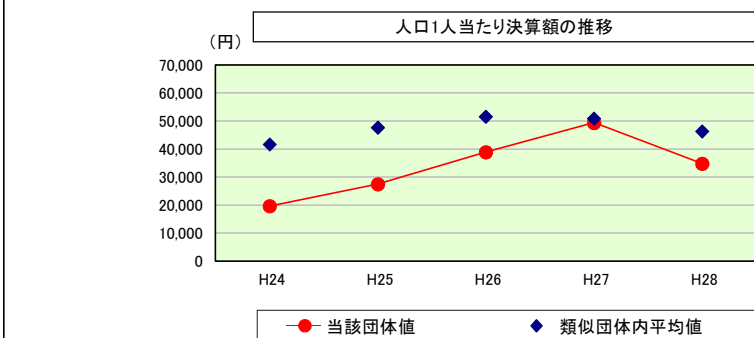


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	17,993,401	36,430	38,230	▲ 4.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	109	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	6,924,568	14,020	9,521	47.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	55,745	113	386	▲ 70.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	398,083	806	876	▲ 8.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 7,339,671	▲ 14,860	▲ 8,387	77.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 13,645,467	▲ 27,627	▲ 29,253	▲ 5.6
合計	4,386,659	8,881	11,483	▲ 22.7

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

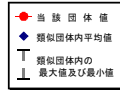
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	9,884,142	19,683	▲ 3.6	41,705	▲ 4.9	1.3
うち単独分	5,965,778	11,880	▲ 13.1	22,742	▲ 4.1	9.0
H25	13,771,674	27,469	39.6	47,677	14.3	25.3
うち単独分	7,269,217	14,499	22.0	23,360	2.7	19.3
H26	19,402,803	38,898	41.6	51,613	8.3	33.3
うち単独分	8,221,390	16,482	13.7	25,872	10.8	2.9
H27	24,528,734	49,387	27.0	50,880	▲ 1.4	28.4
うち単独分	14,384,939	28,963	75.7	27,819	7.5	68.2
H28	17,189,326	34,802	▲ 29.5	46,395	▲ 8.8	20.7
うち単独分	13,017,234	26,355	▲ 9.0	26,304	▲ 5.4	3.6
過去5年間平均	16,955,336	34,048	15.0	47,654	1.5	13.5
うち単独分	9,771,712	19,636	17.9	25,219	2.3	15.6

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

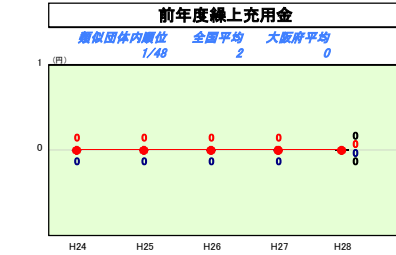
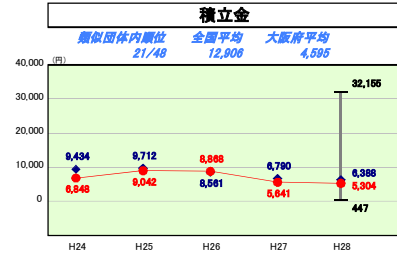
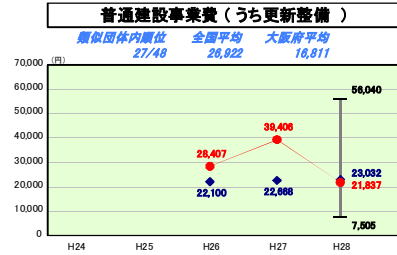
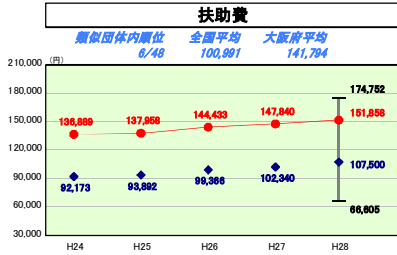
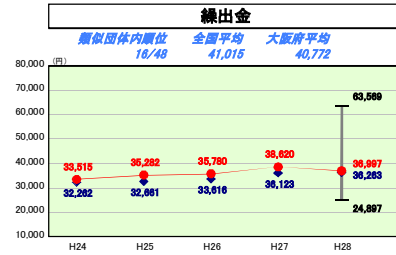
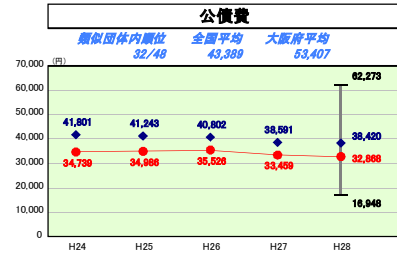
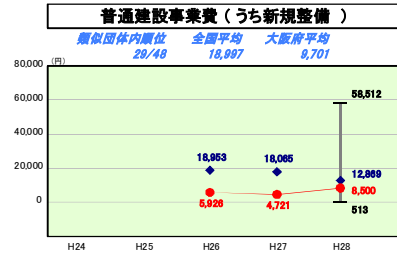
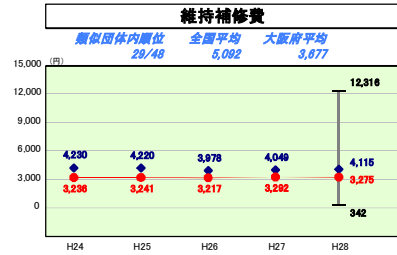
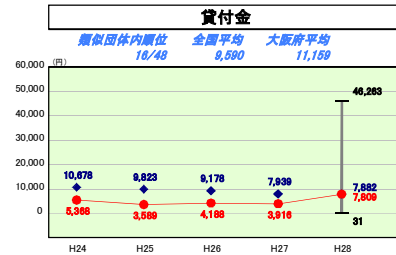
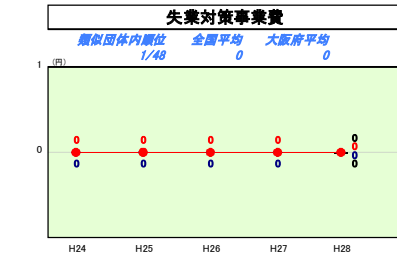
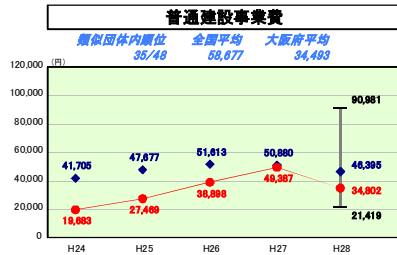
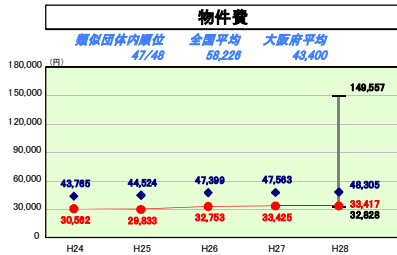
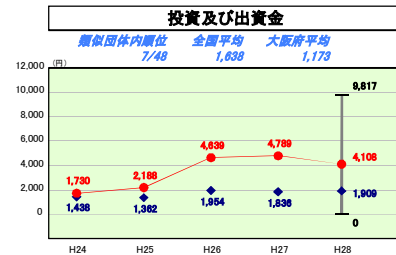
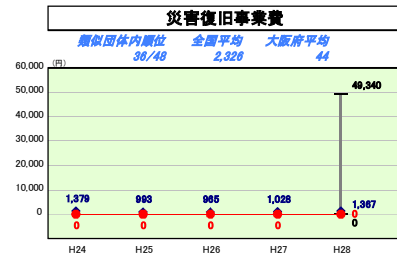
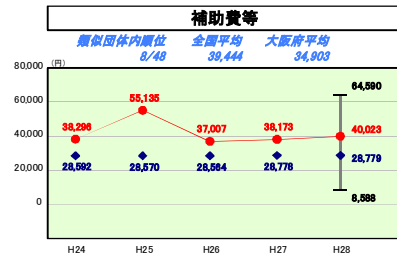
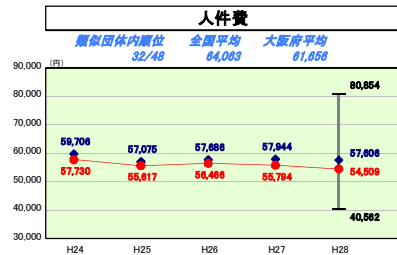
平成28年度

大阪府東大阪市

人口	483,922	人(H29.1.1現在)	実赤字比率	-	%
うち日本人	476,959	人(H29.1.1現在)	連結実赤字比率	-	%
面積	81.78	km ²	実公債費比率	4.7	%
歳入総額	201,689,289	千円	実負担比率	8.5	%
歳出総額	200,023,698	千円			
実収支	1,591,197	千円			
標準財政規模	106,434,180	千円			
地方債現在高	189,687,488	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

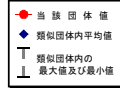
人件費については、これまで実施してきた行政改革により減少傾向にあり今後も総コストの縮減を図っていく方針である。扶助費については平成28年度では類似団体内平均値を44,359円上回り151,858円となっている。本市においては類似団体と比較し、特に生活保護費受給者の割合(保護率)が高いことに加え、近年は障害者福祉施策に係る経費が増大している事が扶助費を押し上げている原因である。普通建設事業においては義務教育施設の耐震化を進めてきたため増加傾向にあったが、平成28年度は類似団体内平均値を下回る34,802円となった。しかし今後は花園ラグビー場の改修、文化創造館の建設、大阪モレール南伸などの大型事業が控えていることから事業の取捨選択を徹底していく必要がある。補助費等においては平成25年度に突出して高くなっており、住民1人あたり55,135円となっているが、これは土地開発公社解散に係る臨時的な要素であり、その後は従前の水準で推移している。しかし類似団体と比較しても依然として高い数値であることから、市独自の補助金や過剰な上乗せ補助金などの見直しをおこない、経費の削減に努める必要がある。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

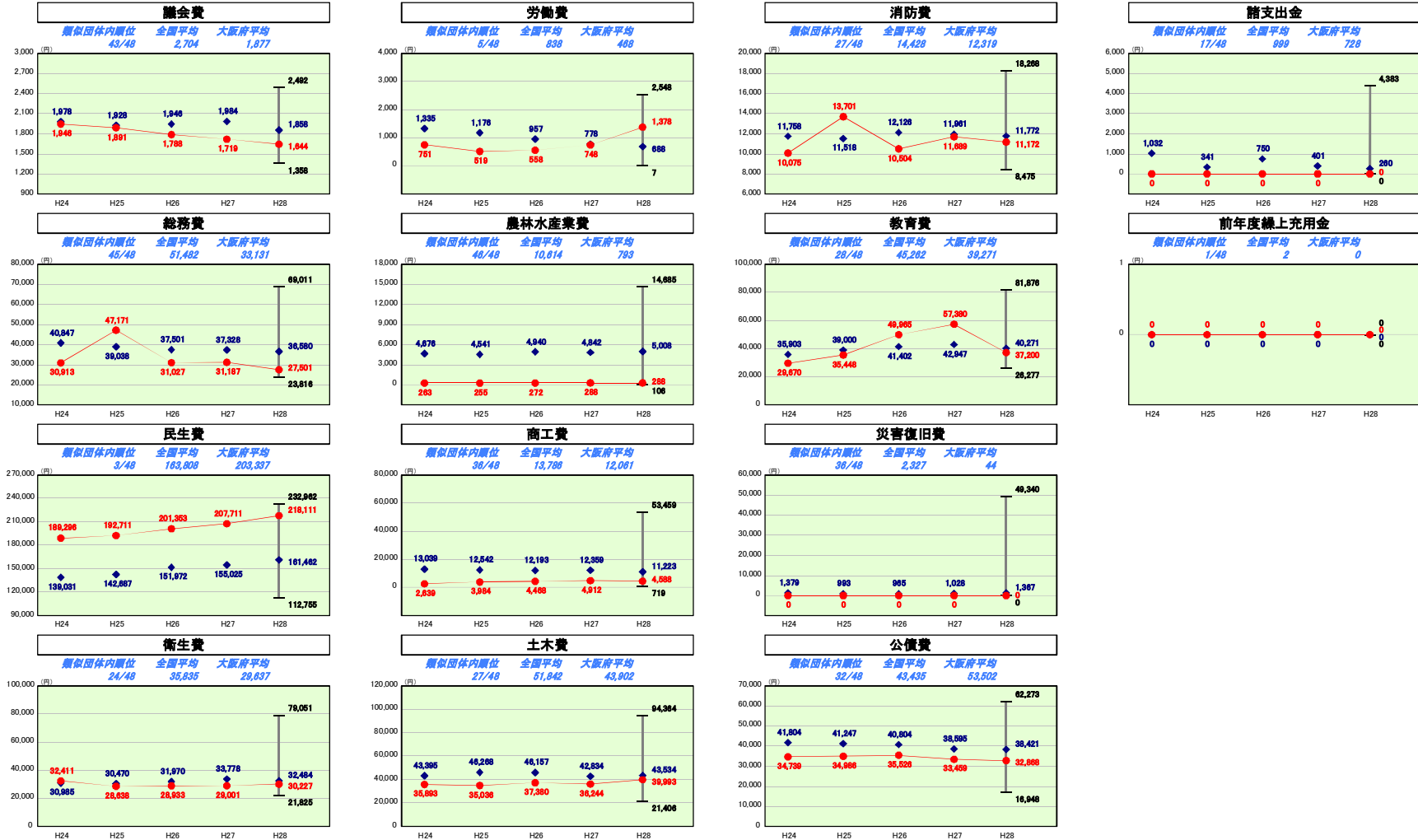
平成28年度

大阪府東大阪市

人口	483,922	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	476,959	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	81.78	km ²	実質公債費比率	4.7	%
歳入総額	201,689,289	千円	将来負担比率	8.5	%
歳出総額	200,023,698	千円			
実質収支	1,591,197	千円	市町村類型	H24 中核市 H25 中核市 H26 中核市	
標準財政規模	106,434,180	千円	(年度毎)	H27 中核市 H28 中核市	
地方債現在高	189,687,488	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

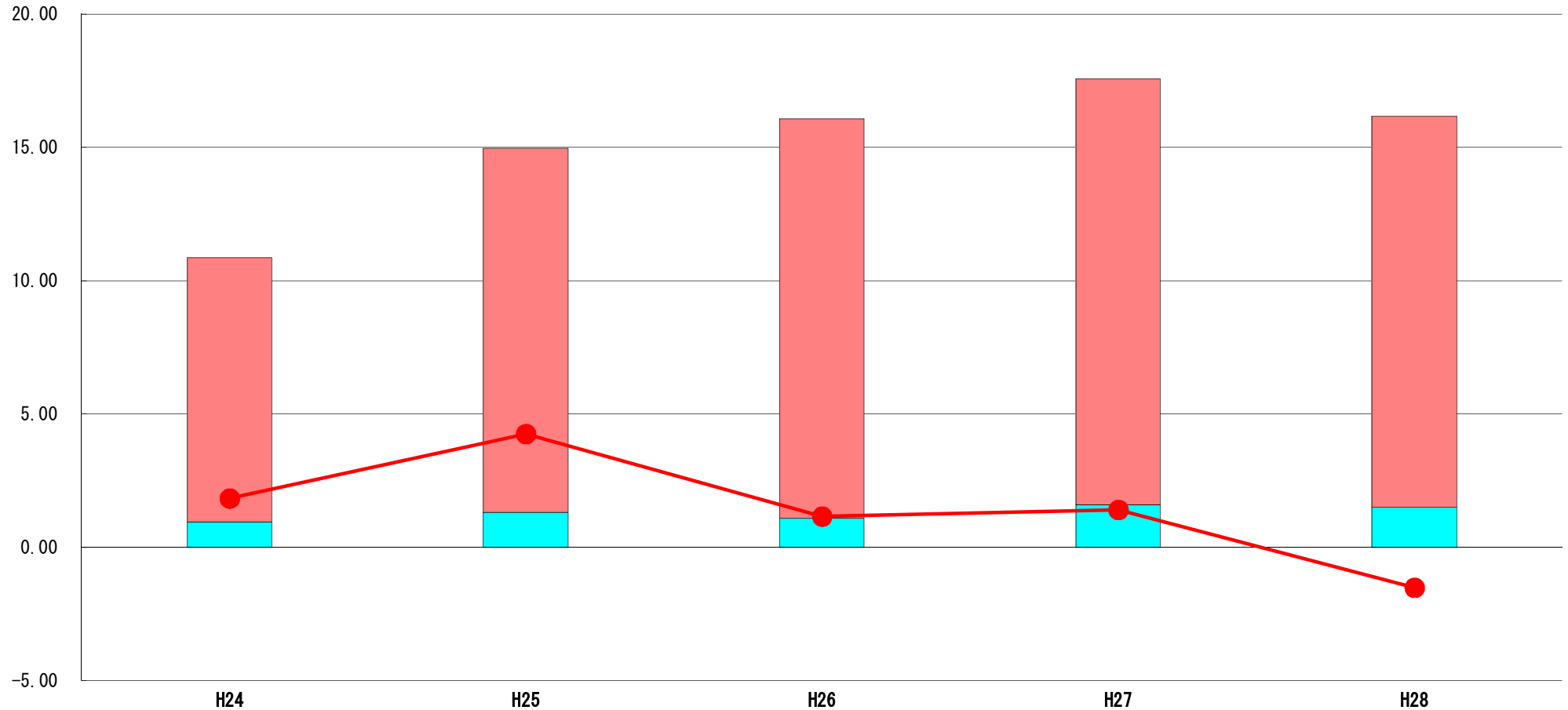
住民一人当たりの議会費については、議員人件費の減少や政務活動交付金の見直しの影響により年々減少しており、平成28年度は類似団体内平均値より214円低い1,644円となっている。住民一人当たりの民生費は類似団体平均値を56,649円上回る218,111円となっており、高い水準となっている。要因として、生活保護制度では就労支援や保護認定など、生活保護費支給の適正化を進めたことにより上昇が止まったものの、障害福祉施策等により社会保障関係経費が増加していることから、平成28年度は前年より6,437円増となっている。労働費については東大阪市雇用開発センターにかかる解散経費のため、平成27年度778円から近年では最も高い1,378円となっている。教育費については近年、義務教育施設の耐震化を進めたため増加傾向にあったが、耐震化事業が終了したことにより平成28年度は37,200円となり類似団体平均値40,271円を下回ることとなった。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成28年度

大阪府東大阪市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		9.91	13.65	14.99	15.98	14.67
 実質収支額		0.95	1.32	1.09	1.59	1.50
 実質単年度収支		1.84	4.26	1.16	1.41	▲ 1.51

分析欄

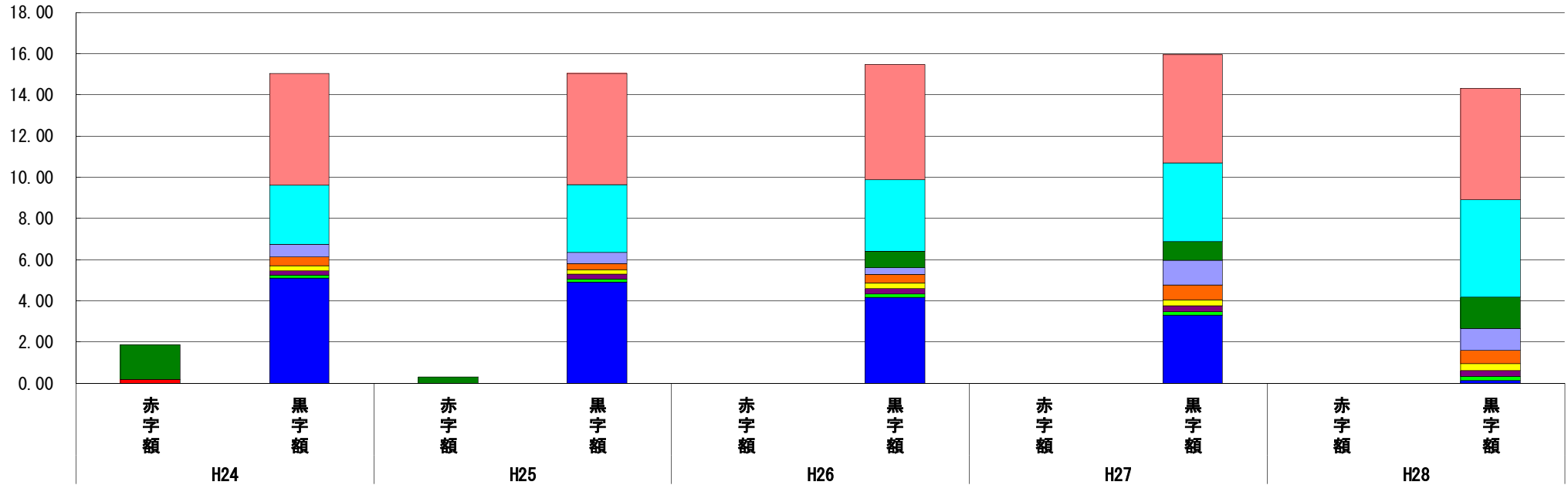
平成28年度の標準財政規模に占める財政調整基金の残高は、平成24年度から4.76%増加し14.67%となった。これは、ラグビーワールドカップ2019の花園開催に向けた花園ラグビー場の改修や文化創造館の建設、大阪モノレールの南伸などの大規模事業に備えた不断の行財政改革の取り組みによるものである。一方、平成28年度においては実質収支の黒字を確保したものの地方交付税や地方消費税交付金等の落ち込みにより、実質単年度収支は赤字となった。今後もより一層健全な財政運営に努めたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

大阪府東大阪市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
水道事業会計		5.42	5.41	5.58	5.26	5.42
下水道事業会計		2.88	3.28	3.50	3.80	4.72
国民健康保険事業特別会計		▲ 1.68	▲ 0.31	0.78	0.92	1.54
一般会計		0.61	0.56	0.33	1.21	1.05
介護保険事業特別会計		0.43	0.29	0.41	0.72	0.64
後期高齢者医療特別会計		0.23	0.22	0.28	0.29	0.35
火災共済事業特別会計		0.23	0.24	0.26	0.27	0.29
交通災害共済事業特別会計		0.14	0.15	0.16	0.18	0.18
その他会計（赤字）		▲ 0.18	-	-	-	-
その他会計（黒字）		5.10	4.90	4.17	3.30	0.14

分析欄

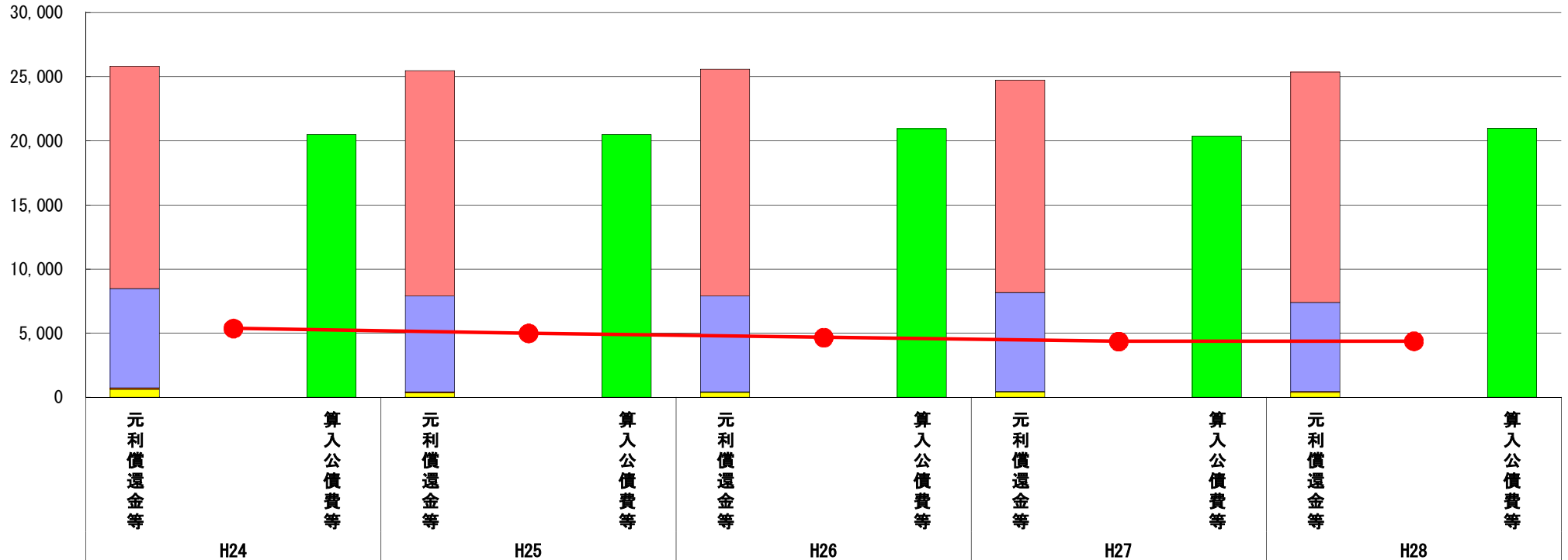
連結実質赤字比率について対象となる一般会計等及び公営企業会計の実質収支額及び資金余剰額（不足額）は全会計で黒字となっている。平成24年度からの5年間をみても、連結実質収支額は黒字であることから、いずれも黒字額が赤字額を上回る状態である。また恒常的な赤字となっていた国民健康保険事業についても、収納確保対策による保険料収納率の向上などにより、平成26年度から黒字に転じた。今後も市全体として健全な財政運営に努めたい。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

大阪府東大阪市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等(A)	元利償還金		17,379	17,563	17,721	16,571	17,993
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		7,727	7,494	7,446	7,675	6,925
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		100	51	44	48	56
	債務負担行為に基づく支出額		634	360	394	434	398
	一時借入金の利子		1	1	1	0	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		20,466	20,474	20,938	20,369	20,985
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		5,375	4,995	4,668	4,359	4,387

分析欄

実質公債費比率（3カ年平均）について、平成28年度は4.7%となり、0.2%改善した。これは病院事業の地方独立行政法人化や下水道事業会計への繰入額の減少等により、公営企業債の元利償還金に対する繰入金が平成25年度と平成28年度を比較すると、5億6千万円減少したこと等による。早期健全化基準（25%）、財政再生基準（35%）ともに過去5年間をみても下回っており、今後も引き続き健全な公債管理に努めたい。

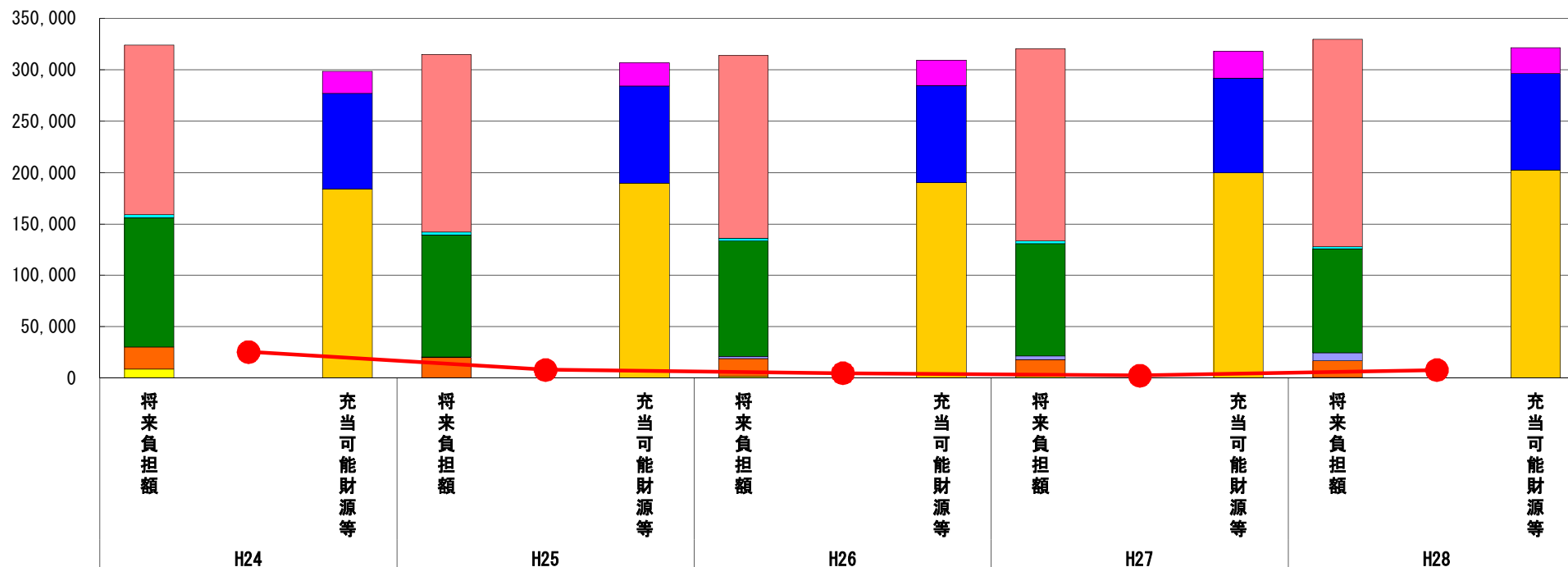
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

大阪府東大阪市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		164,966	172,945	177,633	187,119	201,700
	債務負担行為に基づく支出予定額		3,005	2,727	2,586	2,403	2,193
	公営企業債等繰入見込額		125,721	118,699	112,531	109,318	101,394
	組合等負担等見込額		365	600	1,909	3,717	7,346
	退職手当負担見込額		21,363	19,603	17,721	16,588	16,506
	設立法人等の負債額等負担見込額		8,574	216	1,397	1,329	468
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		21,608	22,672	24,365	26,397	25,170
	充当可能特定歳入		92,879	94,492	94,341	92,005	94,267
	基準財政需要額算入見込額		184,136	189,661	190,291	199,720	202,243
(A) - (B)	将来負担比率の分子		25,370	7,966	4,780	2,352	7,928

分析欄

将来負担比率については、平成28年度は8.5%となり、前年度と比較して6.0%悪化した。将来負担額については、病院事業会計の独立行政法人化に伴い病院事業債管理特別会計への移行により、企業債が79億2千万円減少したものの、一般会計における地方債残高が145億8千万円増加したことで、91億3千万円増加している。充当可能財源等については、財政調整基金や公共施設整備基金などの残高が減少したものの、東大阪医療センターの元利収入額が増加したことで、35億5千万円の増加となった。この結果、将来負担比率の分子は55億7千万円の増となっており、将来負担比率の分子は増加傾向にある。今後も一般会計等にかかる地方債や退職手当はもちろん、公営企業会計及び公社等設立法人の将来負担額にかかる動向や影響に留意しつつ、健全な財政運営に努めたい。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。